

未来への協働

2023年7月26日(水)
第370号

発行所 未来への協働
〒577-0023
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
電話/FAX
(06) 4306-3512
郵便振替
00940-8-213061
Eメール
mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 『はだしのゲンを見たヒロシマ』
- 3面 人と祖先の遺骨を返せ 琉球遺骨返還請求
- 4面 西洋的価値観からの転換 的場昭弘さんの講演を聞いて
- 5面 生まれることが不幸な人生などない
- 6面 玉城知事が「琉球国墓」を訪問

紙面へのご意見、ご感想を。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。



https://kyodomirai.org

原発の制御は不可能

木原壯林さん 「住民との対話が大切」

7月9日
神戸

「子どもたちの地球を汚すな！ 原発いらないお話し会」が開かれ、老朽原発うごかすな！ 実行委員会の木原壯林さんが「原発は、なぜ無くさなければならぬか」「百書あって一利なし」と話した。(7月9日、神戸市内／さよなら原発神戸アクション、市民アモHYOGOなど12団体)



「原発廃炉！」を訴えて行われた反原発パレード＝7月9日、神戸市中央区

木原さんは、「福島 受ける所はない。原発事故から12年。原発が重大事故を起こせば、農地を奪い、海を奪い、職場、学校、生活基盤を奪い去ることを、大きな犠牲により、私たちは教えられた」と次のような例をあげ、話した。

① トリチウムだけでなく、除去されなかった放射性物質を含む大量の汚染水がたまり続け、いま太平洋に垂れ流されようとしている。

② 子ども孫々にまで負の遺産となる。使用済み核燃料が蓄積される。その処分法はなく、中間貯蔵すら引き

御できる装置ではない。あつてはならないことは自明」と結論する。ガラスのように脆く

特に、老朽原発の危険性

容器がもろくなる劣化現象がある。炉心の圧力が高純度の鋼鉄でできているが、長年放射能と高温高圧にさらされると徐々に変質し、金属特有のやわらかさが奪われ、ガラスのように脆くなりやすい。建設当初の炉心はマイナス16度から脆くなるが、老朽化した現在

の高温高圧にさらされると徐々に変質し、金属特有のやわらかさが奪われ、ガラスのように脆くなりやすい。建設当初の炉心はマイナス16度から脆くなるが、老朽化した現在

は現在の科学技術で制御できる装置ではない。あつてはならないことは自明」と結論する。ガラスのように脆く

「私たち地道に骨身を惜しまず訴えれば、原発の声を顕在化し得ることを実体験した。住民の声援と対話が運動の意義を確認させ、次の行動の糧になることを知った」

「廃炉！」の声びく 質問や意見交換が行われた後、パレードに出発。「廃炉！」のコールをあげながら元町商店街へ。スマホで写真を撮っていた外国人観光客から「NUKES」の声が聞かれた。(小柳)

OPINION

誰のための軍拡・増税か 日本がなぜNATOに

バイデンはこれまでに、議事録は残っている。も同様の発言を行ってきた。先月20日には米国内の演説会で、「日本の軍事費を対GDP費2%」間43兆円が米国の意向に引き上げるように「岸田首相を説得したのは自慢した」と述べ、「彼は日本を強化した」と称賛した(12日)。

が、議事録は残っている。米国の言いなりになることだったのだ。「5年間で43兆円」という大軍拡の財源は増税以外にないことは明らかだが、政府はその時期や規模について明らかにしていない。現在の衆議院議員が任期満了となる25年以降に先延ばしする構えだ。こうした一時しのぎで乗り切れると本気で考えているのだろうか。国民全体の所得に占める税金と社会保障費の負担の割合を表す国民負担率は、22年度で47.5%にのぼっている。財政赤字を加えた潜在的な負担率は61.1%だ。これに物価高騰が襲いかかっている。多くの人が「ガマの限界」を感じ始めている。それは内閣支持率の急落に表れている。いったい誰が米国の戦争のための増税に応じるといえるのか。(香月泰)

扇状地

マイナンバーカード問題が騒がしい。特に健康保険証を廃止してマイナンバーカードに替えるとなつて混乱が増している

▼当たり前だ。国民皆保険制度はすでに60年以上の歴史と積み重ねがあり、制度の熟成が進んできた。たしかに自己負担割合の改悪など問題点は多々あるが、公益性のある制度として定着している。いわゆる公益的共有財産(コモン)のような性格をもっている▼今、新自由主義がグローバルな規模で、そうした各国の制度を破壊している。人びとが不安に思うのは当然だ。そうした感覚を無視して、安易にマイナンバーカードに代替するというのがそもそも本末転倒だ▼たとえマイナンバーカードを持っていないとしても、保険者は、被保険者証を発行しなくてはならないし、そもそもそういう制度が保険制度だ。医療や社会保障制度は、行政だけでなく、市民の要求や行動の積み重ねの中で形成されてきたものだ。マイナンバーカードには、その点の理念がない(あ)

原爆と戦争への激しい怒り

ドキュメンタリー『はだしのゲンが見たヒロシマ』



中沢啓治さんの『はだしのゲン』が見たヒロシマ、助けが... (D.V.D.) の上映会... があり、参加した。はだしのゲンを通した中沢さんの被爆証言でもある。映画のなかで中沢さん

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

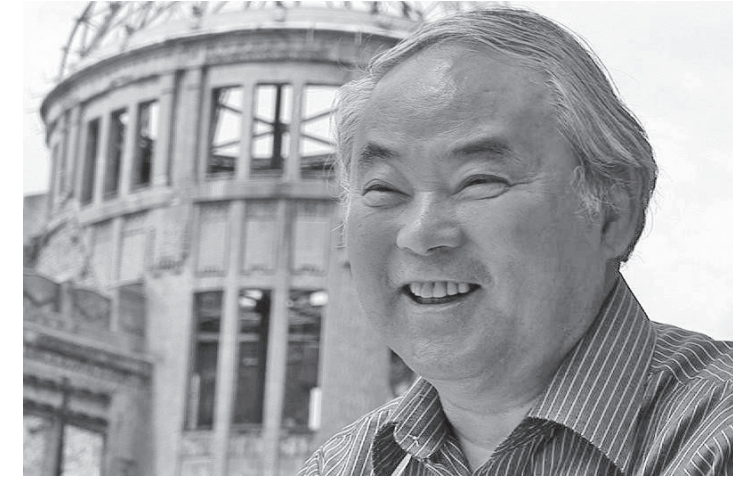
「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと



『はだしのゲン』の作者・中沢啓治さん＝ドキュメンタリー『はだしのゲンが見たヒロシマ』より

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

「水をくたさい」という合唱のよう... 中沢さんも漫画家を目指して上京したころ、広島から来たと言った「放射能がうつる」と人が近寄らない。二流出版社に漫画原稿を持ち込んだと

投稿 狭山再審闘争今夏が決戦 毎月の要請行動に参加を

6月11日、大東市... 民会館キラリエホー... ル(大阪府大東市)で... 部解放同盟全国連合... の第32回全国大会が... 開かれ、2年ぶりに... 加した。村上久義委... 長が力強く主催者あ... さつをおこなった。全... 体討論では、福岡の... 山再審闘争への取り... みの報告、山口の朝... 学校との交流や県庁... 域における活動が活... 発に



部解放同盟全国連第32回全国大会＝6月11日、大阪府大東市

おこなわれていることがよくわかった。とくに、朝鮮学校との交流や解同本部派を巻き込んだ狭山闘争の取り組みが澁澂と報告され注目を集めた。

狭山再審闘争の現状報告では、6月8日の三者協議で事実調べが焦点となり、検察側が11人の鑑定人(とりわけインク鑑定)の「事実調べは必要なし」とする意見書を提出するなど、この夏が決戦であると強調された。袴田再審開始決定の影響は大きい。大崎事件では再審請求を棄却する決定が出ており、「一次は狭山だ」という認識が示された。弁護側の検察批判の意見書が近々出され

は684億2400万円... ドルだったが、23年... 同期は497億ドル... で、187億ドル以上... も減少。一方、韓国... 対米輸出は22年同期... 451億8500万ドル... だったが、23年同期... 454億9700万円と... 微増しただけだった... 半導体輸出の増加率... 見ると、23年1月▲... 5%、2月▲42.5%... 3月▲34.5%、4月... 41.0%、5月▲36.2%... と、韓国の半導体輸出... 激しく落ちこんでい... デカップリング... こうした統計を見れ... ば、米バイデン政権... 分かった。((つづく))

赤信号が灯った韓国経済

金光男さん(在日韓国研究所代表)

高まっている。今年5月の累積貿易赤字額は683億ドル(約9兆7420億円)にのぼっている。赤字幅は1月(125億3000万ドル)をピークに減少傾向を示しているが、急激

半導体輸出が激減

輸出減少の主な原因は、対中国輸出と半導体輸出の激減だ。22年1-

デカップリング

こうした統計を見れば、米バイデン政権が進める「対中国デカップリ

ユン・ソンニョル政の貿易収支は昨年3月以

来15カ月連続で赤字と

な輸入減少による影響が

大きく、韓国経済を支え

ている輸出の不振は続い

Table with 6 columns: Year, Month, China exports, Semiconductor exports. Data shows significant declines in both categories from 2023 onwards.

韓国の中国輸出および半導体輸出の増加率(2023年1月~5月)

韓国産業通商資源部の統計資料より作成

は第二の通貨危機が発生

しかねないという懸念が

要が減ったため、韓国

彫刻家・金城実さんが意見陳述 人と祖先の遺骨を返せ

7月5日
大阪高裁

再び戦争が始まる

7月5日、大阪高裁の大法廷を傍聴人が埋め尽くしてこの日の裁判が始まった。今回は原告・金城実さんの意見陳述があった。

その後、裁判長と双方の代理人・弁護団のやり取りがあり弁論は終了した。次回8月23日までに準備書面を提出し、第5回弁論で結審することになった。

遺骨の占有は違法

金城さんは、遺骨の返還を拒む京都大学の姿勢を弾劾し、琉球の死生観について述べた。そして琉球は日本の「植民地」であり、琉球の島々を戦場にした戦争が再び始まる

2月9日第3回口頭弁論から4回にわたる進行協議が開かれた。弁護団は京都

長、弁護団、傍聴者に訴え

書くことになると思う。

次回弁論の1週間前までに最終準備書面を出すことになる。京都大学は遺骨を占有している。この検証が必要である。こうした占有行為は違法ではないのか。違法であるならば返還せよ。そして違法行為に対して損害賠償を払えということを裁判所に訴えていく。

また、報告集会で発言した医療従事者は「金城さんが『人間の死は沖縄では潮が満ちてくるときは苦しみ、潮が引くときに亡くなっていく』と述

べられたが、私もそういう現場を見てきた」と話した。

京大で糾弾闘争

「5月22日、奈良県会議場が呼びかけ京都大学・時計台前で40人で糾弾闘争を行った。京都大学の駒込武先生や学生も参加した。京大の総務課に団体交渉を求め、4人が入り交渉した。申し入れ内容は、①京大総合博物館に保管されている琉球人遺骨の見聞に配慮すること。②裁判に出廷し、過去から現在における京大の

差別的、植民地主義的対応について原告と琉球・沖縄人に謝罪すること。③盗んだ琉球人遺骨を百按司墓等に返還することを突きつけた。

京大側からは「係争中の裁判のためお答えできない」と総務課から送られてきただけ。5年間、裁判を闘ってきたが、忘れてはならない。われわれは京都大学に侮辱されている。原告団だけでなく琉球、沖縄人全体が侮辱されている。これから闘い続ける」

次回8月23日、午後2時30分から大阪高裁。傍聴は1時30分集合。(高崎)



裁判の報告集会で発言する金城実さん(左から2人目) = 7月5日、大阪市北区

団は京都大学にあって最終準備書面を出すことにする。京都大学は遺骨を占有している。この検証が必要である。こうした占有行為は違法ではないのか。違法であるならば返還せよ。そして違法行為に対して損害賠償を払えということを裁判所に訴えていく。

また、報告集会で発言した医療従事者は「金城さんが『人間の死は沖縄では潮が満ちてくるときは苦しみ、潮が引くときに亡くなっていく』と述

べられたが、私もそういう現場を見てきた」と話した。

京大で糾弾闘争

「5月22日、奈良県会議場が呼びかけ京都大学・時計台前で40人で糾弾闘争を行った。京都大学の駒込武先生や学生も参加した。京大の総務課に団体交渉を求め、4人が入り交渉した。申し入れ内容は、①京大総合博物館に保管されている琉球人遺骨の見聞に配慮すること。②裁判に出廷し、過去から現在における京大の

差別的、植民地主義的対応について原告と琉球・沖縄人に謝罪すること。③盗んだ琉球人遺骨を百按司墓等に返還することを突きつけた。

京大側からは「係争中の裁判のためお答えできない」と総務課から送られてきただけ。5年間、裁判を闘ってきたが、忘れてはならない。われわれは京都大学に侮辱されている。原告団だけでなく琉球、沖縄人全体が侮辱されている。これから闘い続ける」

次回8月23日、午後2時30分から大阪高裁。傍聴は1時30分集合。(高崎)

沖縄を再び戦場にするな

6月23日 前泊博盛さんが講演

6月23日、沖縄「慰霊の日」は当初は6月22日、大阪市内 1965年から6月23日の集会。1分間の黙祷を行い始まった。140人が参加し、沖縄・魂魄の塔前の国際反戦集会の模様、前泊博盛・沖縄国際大学教授の講演、清水早子・「ミサイル基地はいらない宮古島住民連絡会」共同代表の話などがあ

った。前泊さんは、「慰霊

には至らなかった。もう一人女子高生も修学旅行で沖縄に行ってきたと言ったが、こちらも署名はしてもらえなかった。7月8日(土) 途中から雨がぱらつき陸橋下に移動する。参加18人、署名17筆、チラシ配布70枚。水族館で買ったというジュゴンに似たTシャツを着た女子高生。きれいな海の写真に寄って立ち止まる。説明したが署名

は、「軍は住民を守らな

「慰霊日」は当初は6月22日、大阪市内 1965年から6月23日の集会。1分間の黙祷を行い始まった。140人が参加し、沖縄・魂魄の塔前の国際反戦集会の模様、前泊博盛・沖縄国際大学教授の講演、清水早子・「ミサイル基地はいらない宮古島住民連絡会」共同代表の話などがあ

った。前泊さんは、「慰霊

には至らなかった。もう一人女子高生も修学旅行で沖縄に行ってきたと言ったが、こちらも署名はしてもらえなかった。7月8日(土) 途中から雨がぱらつき陸橋下に移動する。参加18人、署名17筆、チラシ配布70枚。水族館で買ったというジュゴンに似たTシャツを着た女子高生。きれいな海の写真に寄って立ち止まる。説明したが署名

は、「軍は住民を守らな

「慰霊日」は当初は6月22日、大阪市内 1965年から6月23日の集会。1分間の黙祷を行い始まった。140人が参加し、沖縄・魂魄の塔前の国際反戦集会の模様、前泊博盛・沖縄国際大学教授の講演、清水早子・「ミサイル基地はいらない宮古島住民連絡会」共同代表の話などがあ

った。前泊さんは、「慰霊

には至らなかった。もう一人女子高生も修学旅行で沖縄に行ってきたと言ったが、こちらも署名はしてもらえなかった。7月8日(土) 途中から雨がぱらつき陸橋下に移動する。参加18人、署名17筆、チラシ配布70枚。水族館で買ったというジュゴンに似たTシャツを着た女子高生。きれいな海の写真に寄って立ち止まる。説明したが署名

は、「軍は住民を守らな



7月8日、神戸市

7月15日(土) 蒸し暑く少し風がきつかった。参加15人、署名7筆、チラシ配布130枚。親子

は、「軍は住民を守らな

若いカップルも署名 辺野古行動・神戸

7月8日(土) 途中から雨がぱらつき陸橋下に移動する。参加18人、署名17筆、チラシ配布70枚。水族館で買ったというジュゴンに似たTシャツを着た女子高生。きれいな海の写真に寄って立ち止まる。説明したが署名

は、「軍は住民を守らな

には至らなかった。もう一人女子高生も修学旅行で沖縄に行ってきたと言ったが、こちらも署名はしてもらえなかった。7月8日(土) 途中から雨がぱらつき陸橋下に移動する。参加18人、署名17筆、チラシ配布70枚。水族館で買ったというジュゴンに似たTシャツを着た女子高生。きれいな海の写真に寄って立ち止まる。説明したが署名

は、「軍は住民を守らな

インフォメーション

8月6日(日)

8・6ヒロシマ平和の夕べ

●午後1時開場、午後1時半開始

●広島RCC文化センター7階大会議室(要予約150人)

参加費:1000円(障がい者、高校生以下、福島避難者無料)

平和講演:平尾直政 きのこ会(原爆小頭症被害者)と家族の会事務局長

被爆証言:森下弘 他

主催:8・6ヒロシマ平和の夕べ

「慰霊日」は当初は6月22日、大阪市内 1965年から6月23日の集会。1分間の黙祷を行い始まった。140人が参加し、沖縄・魂魄の塔前の国際反戦集会の模様、前泊博盛・沖縄国際大学教授の講演、清水早子・「ミサイル基地はいらない宮古島住民連絡会」共同代表の話などがあ

った。前泊さんは、「慰霊

には至らなかった。もう一人女子高生も修学旅行で沖縄に行ってきたと言ったが、こちらも署名はしてもらえなかった。7月8日(土) 途中から雨がぱらつき陸橋下に移動する。参加18人、署名17筆、チラシ配布70枚。水族館で買ったというジュゴンに似たTシャツを着た女子高生。きれいな海の写真に寄って立ち止まる。説明したが署名

は、「軍は住民を守らな



西洋的価値観からの転換 的場昭弘さんの講演を聞いて

6月18日にPLP会館でおこなわれた場昭弘氏の講演会に参加しました。マルクス経済学の研究者で、1980年代には東ヨーロッパでの留学経験もある方です。講演内容は多岐にわたりましたが、講演の中で語られていた言葉を引用し、感想を記します。

ロシア潰しの戦争

「ウクライナ戦争は不幸なことなんです。ウクライナ人は誰のために戦わされているのか? イギリスとアメリカがロシアをつぶすために、スラブ人同士の内戦になるように仕向けられた戦争なんです」

ヨーロッパ的観念

1991年のソ連の崩壊からのNATOの拡大、14年のウクライナでの政変、そして22年2月のロシアの侵攻までの一連の流れは、英米が主導してロシアをつぶしていくとする目的のためにひき起こされたものであり、影の主役としての英米の存在を述べられていました。講演の中では、



的場昭弘さん=6月18日、大阪市内

この内容を詳しく論じてきたという観念があつて、それを受け入れない国にはヨーロッパ人が徹底して教育していくべきという考え方、これが植民地主義なんです」

G7の存在感の希薄化

グローバルサウスとよばれる存在が世界的にクローズアップされていく中、米・西欧および日本等のG7によって統制されてきた世界から、ブラジ

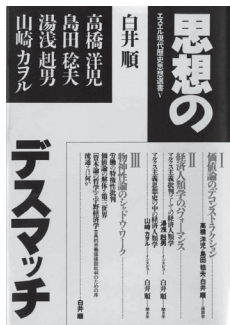
ル・ロシア・インド・中国・南アジアラビアやイラン等の国々が本場の意味で協力し合っているという方向に動き出している

G7の存在感の希薄化

(秋田勝)

思想のデスマッチ 白井順さんの思い出

在野でマルクス経済学(修士)を終了後、高橋順の研究を続けてきた(哲學家)布川充男(音楽家)坂本龍一(音楽家)の白井順さんが昨年8月亡くなった。享年70。白井さんが生前唯一の著書が『思想のデスマッチ』(エスエル出版会/鹿砦社)1985年、写真配が完全に崩壊し、世界が多極化していくことは必然ではないかと感じられる話でした。



白井順 高橋洋児 島田裕美 湯浅超男 山崎カヲル

私と白井さんと出会ったのは2018年12月に専修大学で行われた討論集会だった。その後は、共産主義運動年誌を通じて、白井さんとお付き合いするようになったが、私が文章を載せたり、討論集会で報告する度に白井さんから励ましをいただいた。白井さんは共産主義運動年誌19号掲載の論文で、「あらかじめ、天上でできあがっているマルクス体系ならば、それをおろしてくる者としての『僧侶』が特権的地位をえるのもあたりまえだっただろう。1970年たの代、同世代でも、党派の『学問』体系によって学習した者たちは、とてもなく古典的な・できな。 (茂木 康)

closeup

市民の声が野党を動かす 入管法改悪反対運動で

憲法は市民との共闘に立ち戻った。「妥協は許さない」という市民の声が政党を動かした。国会審議では難民審査がいかにかデタラメで、ほとんど機能していないと。野党の追及を支持したのは街頭やSNS上の抗議の声だった。

「障がい者差別と命の値段」。青い芝の会に、差別と不正義への(私の)原点を再認識させられた。「言葉の力」は、支配者と被支配者の力関係で違ってくると思う。扇状地に、思わず笑ってしまった。(ち) / 「言葉の力」、いい特集だった。潔だが、言いたかったこと



どの国会答弁の無内容、歯がゆさ。政治や社会を動かす、私たちの言葉を持たねば。(な) / 介護の現場から。食事の提供、栄養も味も大切だけど温かいうちに食べてもらうのも大きな要素。入院したとき、温かい食事だと本当にうれしかった。(こ) / 汚染水の海洋放出、一面の記事は簡潔だが、言いたかったこと

二人の園児の遺体が発見されたマンホールの蓋は重さが17キロある。警察はこの重さでは園児には開閉できないと最初から決めつけ、「大人による犯行」として捜査を始めた。また甲山学園は外部から隔離されており、侵入の形跡が見られないことから、「内部犯行説」すなわち当時30人在籍していた職員の犯行に捜査が絞り込まれた。

甲山学園は6歳から24歳までの79人の知的障がい者が入所していた。つまり入所者には年長者もいたし、体格の良い者もいた。彼らは日常的にマンホールの蓋を開閉して、中に石やおもちゃを投げ入れて遊んでいた。殺人であれ、事故であれ、最も現場のことを知っていたのは園児だったのだ。「知的障がい者に殺人ができるはずがない」と決めつけた初動捜査の誤りは、次は女性差別へと向かう。

「女性犯人説」

「女性には理性がない」「女性は生理の時には何をするかわからない」という根拠のない偏見にもとづいて、「このような残酷な事件を引き起こすのは女性にちがいない」と女性犯人説に絞り込まれ、女性職員に生理日を報告させるなどの差別的な捜査を進めていた。最終的に警察は保育士のSさんを犯人と断定して逮捕した。その理由は「亡くなった園児の葬式で最も取り乱して泣いていたのがSだった」という驚くべきものだった。Sさんは田舎から出て来たばかりの純朴な女性で、警察に対して信頼感を持っていた。素朴な素直さが警察に利用された。日頃世話をしていた園児が無残な姿になったのを目の当たりにして、取り乱してしまうのは当然前のことであり、それだけSさんが情愛の深い、子どもへの思いが深い保育士だったということだ。それをもって「犯人と断定」した捜査員たちの信じられないような非人間的な感性は、女性差別に深く根差したものだ。

生まれることが不幸な人生などない

障がい者差別と命の値段 ③ 当間弓子

訴となり釈放された。Sさんと職員たちは不当な人権侵害が行われたとして、国家賠償請求訴訟を起した。これに対して警察は、世間の注目を集めていた甲山事件で「面子をつぶされた」とばかりに報復に打って出た。彼らはあるとあらゆる卑劣な手を使って、園児と保護者と職員を分断し、対立・反目させた。その結果、Sさんの不起訴に対して、遺族が検察審査会に不服を申し立てた。警察は一部の園児を差別的に誘導し利用して「Sさんが死んだ」という証言をさせた。1978年、Sさんは殺人罪で再逮捕され、さらにSさんのアライバイを証言した園長のAさんと保育士のTさんも偽証罪で逮捕された。こうして長期にわたる甲山裁判が始まった。25年後に3人は完全無罪判決を勝ち取ったが、彼らの人生が取り返しがつかないほど踏みこまれた。Sさんには重いがい者の立場はない。にじられた歲月は重い。「穢れ」「家の恥」「人間宣言」

日本では戦前戦後一貫して、障がい者は「穢れ」「家の恥」として、乳幼児の頃に家族に殺されたり、重度障がい者は「座敷牢」という物置に閉じ込められたりして一生を終えた。社会福祉の貧弱な手を使って、障がい者もその原因のひとつだ。軽度であっても「劣った命」として塩をまかれ、学校からも排除された。教育を受けることもできず、肩身の狭い絶望的な人生を強いられてきた。1960年代後半から1970年代後半にかけて、障がい者の人権が語られるようになった。1歳半の時に母親が無心中心を殴るところから設や養護学校が作られていった。しかしそれは、人里離れ、地域から切り離された場所への隔離収容だった。そこでは不妊手術が強制され、トイレや風呂の介助を異性が行うなど、障がい者の人権は蔑ろにされてきた。

前述した1970年横浜で母親が障がい児を殺害した事件では、比較的「良心的」とされた意見でさえも「施設がもつ」とあれば母親を追いつめ「済んだ」という母親を十二分に堪能し、感謝しています。

『被差別部落に生まれて』
— 石川一雄が語る狭山事件 —
黒川みどり・著 岩波書店 / 2023年2月4日 75円(税別)



「狭山事件」という狭山差別裁判事件は、捜査の段階から一審内田死刑判決を経て現在の第3次再審請求にいたるまで、一貫して部落差別に基づく「冤罪」事件であり、恐るべき暗黒裁判であり、世界に稀にみる権力犯罪である。この権力犯罪を可能にした背景には、地域の根強い部落差別があった。

世界に稀にみる権力犯罪 地域の根強い部落差別

「狭山事件」という狭山差別裁判事件は、捜査の段階から一審内田死刑判決を経て現在の第3次再審請求にいたるまで、一貫して部落差別に基づく「冤罪」事件であり、恐るべき暗黒裁判であり、世界に稀にみる権力犯罪である。この権力犯罪を可能にした背景には、地域の根強い部落差別があった。

「狭山事件」という狭山差別裁判事件は、捜査の段階から一審内田死刑判決を経て現在の第3次再審請求にいたるまで、一貫して部落差別に基づく「冤罪」事件であり、恐るべき暗黒裁判であり、世界に稀にみる権力犯罪である。この権力犯罪を可能にした背景には、地域の根強い部落差別があった。

「狭山事件」という狭山差別裁判事件は、捜査の段階から一審内田死刑判決を経て現在の第3次再審請求にいたるまで、一貫して部落差別に基づく「冤罪」事件であり、恐るべき暗黒裁判であり、世界に稀にみる権力犯罪である。この権力犯罪を可能にした背景には、地域の根強い部落差別があった。



三里塚「産直野菜」は有機無農薬。毎週・隔週、「お試しセット」あり。
【お問い合わせ】
TEL/0799-72-5242
関西美 E-mail/ kanjitsu_mail@yahoo.co.jp

筆」が、石川さん宅の鴨居から「見つかった」。それが、関巡査が下着の差し入れを口実に勝手に座敷に上がってきた時に仕掛けられたことは、家族の証言で明らかである。家宅捜索では、鴨居の横の「ネズミの穴」に突っ込まれた布きれを、捜査官が外してまで見ていた。

その(被害者の)万年筆のインクの色が、被害者が使っていたライトブルーではなく、ブルーブラックであることも、蛍光エックス線法によって「まったく製法の違うインクである」という、新鑑定が出ています。「被害者がカートリッジを洗って入れ替えた可能性が極めて高い」という論(可能性など)も全士の言葉は重い。(村井)

三里塚の産直野菜
夏はキュウリも
保存食。乱切りに鷹の爪の輪切りしたものを入れた、ゴマ油でさっと炒め、酢、砂糖、しょうゆを合わせた調味液に漬けて冷蔵庫に1週間。食欲も増進します。(淡)

トガシさんの「沖縄便り」(6)

玉城知事が

「琉球国墓」を訪問

沖縄ではコロナが再燃 貿易促進協会の中国訪問し、オール沖縄企画の抗 があり、玉城知事は...



玉城知事の中国訪問を伝えるテレビ映像

福建の交易連絡所

琉球国時代、福州には 琉球館が置かれ琉球使臣の宿泊所兼交易連絡所として用いられていた。墓も置かれた。同じく薩摩の鹿兒島にも琉球仮屋のち、琉球館があった。

を置き琉球を監視し、間接的に支配・被支配関係を作り上げている。公務途中の物故者 以上を予備知識として、本題に入る。玉城知事が「琉球国墓」を訪れたことに、前述のコメントーターや今回の訪問を歓迎しない人たちは不満、不安を持っているよ

も辺野古埋め立て工事は着々と進み、抗議阻止の行動も続いている。「台湾有事」と危機を煽る自衛隊の強化も進んでいる。私たちの方にも近々、全県規模の組織作りの動きがある。戦争の危機を防ぐ政府による外交努力には目立った動きはない。

「琉球国墓」を訪問する。中国福建省にあった琉球館を見学し、「琉球国墓」に詣でた。マスコミの扱いはどうだったか。テレビ朝日の「大下容子ワイドショー」は玉城知事に焦点を当てた。コメントーターが、中国の沖縄帰属論宣伝に利用されかねない」とコメントした。民間平和外交、緊張緩和へ賞賛された。冊封とは、中国皇帝の名目の君臣関係であり支配被支配関係ではない。

琉球国墓詣でに誹謗

7月に民間の日本国際ニッポン放送の対談番組 前後の歴史を見ていく。

まい・しよっと (56)



前号の「雛」その後。激しい雷雨の翌朝。木の枝にふわふわぶ毛が愛らしくとまっていた。さまざま危難に耐え、見事に巣立ち。自然のなかを生き抜いて欲しい。(撮影7月：神戸市北区/智)

川柳

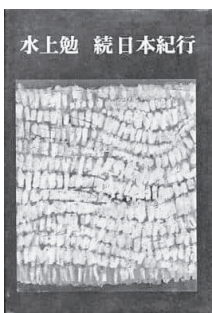
病院の長い廊下と長い影 明日は明日あゝの世はあゝの世ジャズを聴く 止まり木でジョンバエズを聴いている 青空から私が降ってくる 逃げる トンネルを抜けたところに壁がある 大体は揃っています出発だ 異常気象が頻発するという異常 ヒロシマナガサキオキナワフクシマと 十一時二分の鐘よナガサキの

原発が原爆になるおそろしさ

乱鬼龍

「満州」に関する覚え書き (その6)

「略奪、暴行」 小説「古河 力作の生涯」 大逆事件で死刑になった人を書いた作家水上勉は 若い頃、京都府職業課員として満蒙開拓 青少年義勇軍 1931年頃は世界恐慌の募係をしていた。 の募係をしていた。 貧しい農民の親子の姿を、後に『続日本紀行』(写真左)に書き留めている。



1932年10月、「先遣隊」の試験移民が北満州ジャムスへ派遣された。試験 1933年の第1次から 36年の第4次まで続いたが、あまりに問題が多く 家族移民政策へと変更される。政府は、貧困にあえぐ農村から満州移民を送り出す「分村移民」計

「事変・傀儡・移民・崩壊」

この独身男性による「武装移民」は、 満すれば差別は解消する「20町歩の土地が与えられる」「兵隊にとられることはない」という誘いに、住民の気持ちは動いた。(こじまみちお)